



○ラグビーワールドカップ2019から

皆さん、毎日の自宅待機（学習）期間、どのように過ごしていましたか？私はもちろん仕事もしていましたが、余裕のある時間で、昨年秋の「ラグビーワールドカップ日本大会」の試合などをテレビなどで観ていました。とくにワールドカップは、世界中で「日本大会は本当に素晴らしかった」「日本人のチームを問わない声援に感激した。」と評価され、ラグビーに関わる者としても、誇らしげな思いを新たにしています。

さて、新型コロナウイルスで毎日窮屈な生活を強いられている我々は、今どのように振る舞えばよいのでしょうか。未知のウイルスへの恐怖は、誰でも感じていることと思いますし、様々なストレスから「この状況を誰かのせいにして怒りをぶつける」という残念なニュースも耳にします。国民全てがこの辛い状況にどう立ち向かうのか。まさに我々一人一人が、「ワンチーム」になれるかを試されているのではないのでしょうか。

この「新型コロナウイルスによる世界的な危機」は、「東日本大震災」同様、歴史に残る大事件であり、君たちは今そのまっただ中にいます。今こそ、高齢者から若者・子供まで、すべての日本人が「ワンチーム」となり、この危機が去った後、自分たちの言動や振る舞いが、「誇らしく」思えるようになればいいですね。

2年3組 担任 吉村 尚貴